

No. 34

2004年11月発行

淀川水系 流域委員会 委員会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第34回委員会の内容……………P. 1
- 第34回委員会の説明資料より抜粋……………P. 3
- 配付資料リスト……………P. 11
- 委員会 委員リスト……………P. 12
- 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法・ご意見受付……………P. 14

平成16年10月25日(月)、第34回委員会が行われました。



【マイドームおおさかにて】

第34回委員会の内容

前回委員会以降の状況報告が行われた後、ダムWGでの検討経過について報告がなされ、委員との意見交換が行われました。また、その後、地域部会での検討経過、台風23号の被害状況について報告がなされました。

第34回委員会結果報告

庶務作成

開催日時：2004年10月25日（月） 13：30～17：05

場 所：マイドーム大阪 3階展示場F

参加者数：委員27名、河川管理者18名、一般傍聴者200名

1. 決定事項：特になし

2. 審議の概要

①状況報告

庶務より資料1「前回委員会(2004.9.29)以降の状況報告」を参考に開催状況について報告がなされた。

②ダムWGの検討経過報告と意見交換

庶務より資料2-1「開催経過」を参考にダムWG開催状況について報告がなされた後、河川管理者より資料2-3「ダムWGの資料抜粋」を参考に報告がなされた。さらに今本ダムWGリーダーより資料2-2「ダムWGについての検討経過メモ(041025)」を用いて説明がなされた後、主な論点について意見交換が行われた。主な意見は以下の通り(例示)。

○想定する目標洪水規模について

- ・既往最大実績洪水か、既往最大雨量の降雨パターンによる引き伸ばしか。どちらを想定するかによって、ダムの結論が大きく変わってくる(ダムWGリーダー)。
- ・予算、期限、実現可能性を考えれば、引き伸ばし降雨ではなく、実績洪水を対象にした方がよい。
- ・「死者を出さない」「生活再建可能」といった社会的被害を基準にした考え方も必要だ。
- ・今回の河川整備計画では、従来とは違う治水の考え方や川が川をつくるという理念を打ち出しているため、目標洪水規模についても既往最大の実績洪水で検討すべきだ。
- ・河川管理者が上野地区で想定している目標洪水規模(降雨パターンによる引き伸ばし降雨)は妥当だと考えている。ただ、実績洪水も引き伸ばし降雨も目安の1つであり、絶対ではない。地元住民の意見を聞いて、地域ごとに決めればよい(委員長)。
- ・河川管理者は狭窄部上流には既往最大規模を用いると言いながら、既往最大は実績降雨を様々な降り方まで考慮したものであり、ダブルスタンダードとなっている。「実績雨量を実績パターンで検討しているから実績」だという言い方はやめて欲しい。それは仮想の降雨である(ダムWGリーダー)。
- ・高時川流域の目標洪水規模を決めなければ、丹生ダムの検討ができない(委員長)。
←高時川流域は滋賀県が管轄しており、現在、住民への聴取や川づくり会議の開催により計画の検討を進めている。これらを消化した上で、委員会に説明したいと考えている(河川管理者)。
- ・目安として「分かりやすさ」が重要。目安としてなら、既往最大の実績洪水がふさわしい。
- ・住民の視点から考えると、わかりやすい目安は大切だ。また、住民を含めて私たちは一緒に責任を持つという転換が一番大事なところである。
←「住民がどう思うか」というのは大変気になっており、既往最大流量をとる方がわかりやすいが、そうすると従来の計画よりも効果が小さくなる。河川管理者としては既往最大

流量ということでは、地元の人々に説明がつかないということに至った(河川管理者)。
・住民には、従来の考え方の場合と新しい考え方の場合についてどうなるか、また従来の考え方とは違う方法で治水安全度を確保していくということを説明する必要がある。

○環境について

- ・ダムによって環境がどの程度悪くなるのか。その影響にどう対応していくのか。ダム以外の問題に対しても早く提出して欲しい。
←環境に与えるダムの影響とその対応策はまだ説明できていない。現在のところ、ダム本来の目的、必要性についての議論がなされている(河川管理者)。
- ・代替案を検討してダムによらざるを得ないとなった時にダムの環境への影響を検討し、ダムの是非を決めるという検討順序だったが、それは違うのではないか。ダムやその代替案を検討する際にそれぞれの環境への影響も検討して、それぞれ比較、考慮する必要がある。
- ・丹生ダムの琵琶湖の水質への影響については、琵琶湖研究所と河川管理者で見解が一致していない。よく分からない場合には、予防原則をベースに考えていくべきである。

○利水について

- ・節水キャンペーンは、キャンペーンで終わらせて欲しくない。具体的な数値目標(何年先に何%の節水)を持った取り組みをお願いしたら、市町村ではアジェンダとして市民と一緒に節水活動に取り組んでいる例もあるので、こういった活動との連携もお願いしたい。

③地域部会における検討経過報告

庶務より資料3-1「開催経過」を参考に地域部会の開催状況について報告がなされた後、地域部会部会長より各部会の検討状況について報告がなされた。

④台風23号の被害状況報告

河川管理者より台風23号によって甚大な被害が発生した円山川と由良川の状況についてスライドを用いて説明がなされた後、意見交換が行われた。

- ・亀岡、保津川あたりで溢水が発生したにも関わらず、地域住民はダムがあるから安心だと思っている。身近の川の危険性を知ってもらうために、それぞれの河川別に住民向けのシンポジウムを開催する必要がある。
←前向きに検討したい(河川管理者)。

3. 一般傍聴者からの意見聴取

- 一般傍聴者7名より発言があった。主な意見は以下の通り(例示)。
- ・岩倉峡の現在の流下能力を算定せずに、上野地区の氾濫シミュレーションをしているのが不思議でならない。河川管理者は現在の岩倉峡の流下能力を調査すべき。
- ・上野遊水地は岩倉峡よりも低い場所にあるので、上野遊水地を掘削すると湿原のようになってしまうだろう。ここに貯まった水をどのように排水すればいいのか。考慮した上で検討して欲しい。
- ・地元の住民意見の反映について改善をお願いしたい。ダムWGが河川管理者に対して資料提出を求めていたにも関わらず、住民説明会で出た意見をとりまとめた資料がいまだに提出されていない。
- ・委員会は平成13年の取水実績を河川管理者に提出するよう要求して欲しい。
- ・委員会は、すでに水需要の中間報告を出した大阪府営水道の資料を要求し、具体的な検討を進めて頂きたい。全ての精査確認結果を待つのではなく、1つでもより突っ込んだ検討をお願いしたい。
- ・上野地区の住民としては、既往最大規模の降雨をさまざまな降雨パターンで検討してほしい。
- ・河川整備計画の対象が20～30年であることを考慮すれば目標規模は既往最大実績洪水にすべきだ。

4. その他

河川管理者より、流域委員会の新規委員募集について報告があった。

以上

第34回委員会の説明資料より抜粋

第34回委員会では、資料2「ダムWG関連資料」を用いてダムWGおよびダムサブWGの検討状況について、資料3「地域部会関連資料」を用いて地域部会の検討状況について報告がありました。以下に資料より一部を抜粋して掲載いたします。

■資料2より抜粋

◎資料2-1 開催経過

種類	回	実績	開催日	時間	場所	議題	備考
ダムWG	第1回	済	2004.07.11	13:30～18:00	キャンパスプラザ京都	①ダムWGの運営方法について ②川上ダムに係る報告 ③余野川ダムに係る報告	一般傍聴の受け入れは行っていない
ダムWG	第2回	済	2004.07.18	13:30～18:00	キャンパスプラザ京都	①調査検討に係る報告 ・琵琶湖環境 ・丹生ダム ・大戸川ダム ・天ヶ瀬ダム再開発 ②今後の検討の進め方について	一般傍聴の受け入れは行っていない
ダムWG	第3回	済	2004.07.25	13:30～18:00	梅田センタービル	①調査検討に係る報告 ・利水 ②調査検討に基づく質疑応答 ・5ダム、琵琶湖環境、利水	10:00～12:00まで委員のみによる検討会を開催
ダムWG	第4回	済	2004.08.19	10:00～17:00	梅田センタービル	①堤防補強および琵琶湖の水位操作の説明と議論 ②3ダムの目的および代替案の説明と議論 ③川上ダムおよび余野川ダムの目的および代替案の説明と議論	
ダムWG	第5回	済	2004.09.23	13:00～17:00	京都リサーチパーク	①川上ダムの代替案および猪名川狭窄部上流の目標規模の再検討他について ②3ダムの目的および代替案の検討について ③川上ダムおよび余野川ダムの目的および代替案の検討について ④ダムWGの進め方、堤防補強および琵琶湖の水位操作の検討について	10:00～12:00まで拡大学習会を開催
ダムWG	第6回	済	2004.10.04	13:00～17:00	ばるるプラザ京都	①河川管理者提供資料に関わる検討 ②3ダムWGに係る検討について ③川上ダムの目的と代替案の検討について ④余野川ダムの議論について ⑤ダムWGの今後の進め方	10:00～12:00まで拡大学習会を開催
ダムWG	第7回	済	2004.10.18	15:00～17:00	カラスマプラザ21	①木津川上流上野地区の治水対策について ②琵琶湖水位と瀬田川洗堰について ③今後の検討の進め方について	10:00～14:00まで拡大学習会を開催
ダムWG	第8回		2004.11.10	16:00～18:00	未定	(調整中) ダムWGの報告に係る検討	13:00～15:00まで拡大学習会を開催する予定

ダムWG調整会議	済	2004.08.30	14:00～17:00	ばるるプラザ京都	ダムWGの今後の進め方について	
視察意見交換会	済	2004.09.26	10:00～21:00	大戸川ダム・天ヶ瀬ダムエリア	10:00～18:00：大戸川氾濫地域、鹿跳峡谷、塔の島を中心に視察。昼に移転集落住民代表と懇談 18:00～21:00：宇治市内において地域住民との意見交換会	
視察意見交換会	済	2004.09.27	10:00～21:00	丹生ダムエリア	10:00～18:00：高時川、田川、姉川を中心に視察 18:00～21:00：長浜市内において地域住民との意見交換会	

種類	回	実績	開催日	時間	場所	議題	備考
3ダム	第1回	済	2004.08.07	13:15～17:00	京都リサーチパーク	①丹生ダムについて ②大戸川ダムについて ③天ヶ瀬ダム再開発について ④代替案について	
3ダム	第2回	済	2004.09.11	13:15～17:00	ピアザ淡海	①天ヶ瀬再開発 ・塔の島地区河川掘削と景観について ②丹生ダム ・高時川の瀬切れメカニズムについて ・丹生ダム貯水池および高時川の水質予測について ③異常洪水時の緊急水の補給	
3ダム	第3回		2004.11.08	10:00～12:00	大津セプリンスホテル	・丹生ダムの治水に係わる検討 ・報告取りまとめに係わる検討	午後の琵琶湖部会(13:30～16:30)と合同開催
川上ダム	第1回	済	2004.08.03	9:00～終日	名張市内	(現地視察)	視察終了後委員と河川管理者との間で意見交換会を実施
川上ダム	第2回	済	2004.09.03	10:00～13:00	京都リサーチパーク	①「ダムWGと河川管理者との調整会議」(8/30)の概要報告 ②代替案の検討等の状況報告 ③主要な論点に関する意見交換(降雨パターン、ダムの効果、代替案等) ④今後の川上ダムサブWGの進め方	
余野川ダム	第1回	済	2004.08.11	9:00～17:00	現地・梅田センタービル	①現地視察を踏まえた意見交換 ②調査検討の中間報告に係る意見交換	9:00～15:00まで現地視察を実施
余野川ダム	第2回	済	2004.09.22	13:00～17:00	梅田センタービル	①河川管理者から提供資料に係る報告・検討 ②代替案についての検討 ③ダムWGでの現在の議論経過説明および検討 ④今後の余野川ダムサブWGの進め方、猪名川部会との関係について	

資料2-2 ダムWGについての検討経過メモ

ダムWGについての検討経過メモ(041025)

ダムWGリーダー 今本博健

ダムWGは5つの事業中のダムについて集中的に審議するため平成16年7月に設置され、すでに7回の会議のほか、3回の学習会(非公開)、現地視察(非公開)、現地意見交換会を行ってきた。

また、ダムWGのもとに3つのサブWG、すなわち、丹生・大戸川・天ヶ瀬ダムサブWG、川上ダムサブWGおよび余野川ダムサブWGを設置し、ダムWGと共同して審議を行っているが、それぞれ2回の会議を開き、担当ダムについての審議を行ってきた。

なお、ダムWG報告案を作成するため平成16年10月に作業部会を設置し、報告案の作成準備を行っている。

これまでの検討経過を概述すると以下の通りである。

- (1) 各ダムの目的および効果について河川管理者による説明を聞くとともに、質疑応答を行った。
- (2) 各ダムの目的ごとにダム以外の方法(代替案)について河川管理者による説明を聞くとともに、質疑応答を行った。
- (3) 現在審議中の事項は以下の通りである。
 - ・各ダムの主たる目的および効果についての精査
 - ・各ダムの主たる目的ごとのダム以外の方法の効果についての検討
 - ・各ダムの評価
- (4) 今後の予定
 - ・11月16日に開催予定の委員会に各ダムの評価を除くダムWG報告案を提出し、審議する。
 - ・12月20日に開催予定の委員会に各ダムの評価を含むダムWG報告案を提出し、審議する。
 - ・委員の意見を受けて修正したダムWG報告案を平成17年1月22日に開催予定の委員会に提出し、審議を経てダムWG報告とする。

*作業部会メンバーは次の10名の委員で構成している。

WGリーダー：今本委員

サブWGリーダーおよびサブリーダー：

丹生・大戸・天ヶ瀬ダム：水山委員・荻野委員

川上ダム：榎屋委員・川上委員

余野川ダム：田中(哲)委員・本多委員

WGリーダーが必要とするメンバー：寺川委員・西野委員・三田村委員

以上

資料2-4 提出資料一覧

河川管理者からの提出資料一覧

1. 第1回ダムWG資料(平成16年7月11日実施)
 - ①資料3-1 川上ダム計画に関する調査検討の説明状況
 - ②資料3-2 川上ダム計画に関する調査検討(中間報告)
 - ③資料4-1 余野川ダム計画に関する調査検討の説明状況
 - ④資料4-2 余野川ダム計画に関する調査検討(中間報告)
2. 第2回ダムWG資料(平成16年7月18日実施)
 - ①資料1-1 琵琶湖環境に関する調査検討の説明状況
 - ②資料1-2 琵琶湖環境全般について課題の整理
 - ③資料1-3 琵琶湖の水陸移行帯における調査
 - ④資料2-1 丹生ダム計画に関する調査検討の説明状況
 - ⑤資料2-2 丹生ダム計画に関する調査検討(中間報告)
 - ⑥資料3-1 大戸川ダム計画に関する調査検討の説明状況
 - ⑦資料3-2 大戸川ダム計画に関する調査検討(中間報告)
 - ⑧資料4-1 天ヶ瀬ダム再開発計画に関する調査検討の説明状況
 - ⑨資料4-2 天ヶ瀬ダム再開発計画に関する調査検討(中間報告)
3. 第3回ダムWG資料(平成16年7月25日実施)
 - ①資料1-1 利水関係資料
 - ②資料1-2 利水関係資料
 - ③資料1-3 利水関係資料
4. 第1回3ダムサブWG資料(平成16年8月7日実施)
 - ①資料1-1 高時川の瀬切れの進行と解消の状況
 - ②資料1-2 高時川流域周辺の気象・水文
 - ③資料1-3 琵琶湖環境改善策
 - ④資料1-4 琵琶湖沿岸の浸水被害軽減対策
 - ⑤資料1-5 丹生ダム・大戸川ダム・天ヶ瀬ダム再開発について
 - ⑥資料1-6 淀川水系堤防補強対策について
5. 第4回ダムWG資料(平成16年8月19日実施)
 - ①資料1-1 堤防強化について
 - ②資料1-2 琵琶湖の水位操作について
 - ③資料1-3 琵琶湖水位と丹生ダムの貯水池運用の関係
 - ④資料1-4 大戸川ダムと天ヶ瀬ダム再開発の下流への治水効果
 - ⑤資料1-5 天ヶ瀬ダム再開発の琵琶湖沿岸への治水効果について
 - ⑥資料1-6 川上ダムの効果について
 - ⑦資料1-7 余野川ダムの効果について
 - ⑧資料1-8-1 琵琶湖の水位低下抑制と異常渇水時の緊急水の補給
 - ⑨資料1-8-2 平成6年度 琵琶湖実績水位
 - ⑩資料1-9 流水の正常な機能を維持させるために必要な流量

6. 第2回川上ダムサブWG資料（平成16年9月3日実施）
 - ①資料3-1 木津川上流域の降雨について
 - ②資料3-2 河道掘削の効果について
7. 第2回3ダムサブWG資料（平成16年9月11日実施）
 - ①資料1-1 天ヶ瀬ダム再開発に伴う「塔の島」地区の河川整備について
 - ②資料1-2 高時川の瀬切れのメカニズム
 - ③資料1-3 丹生ダム貯水池および高時川の水質予測
 - ④資料1-4-1 琵琶湖の水位低下抑制と異常渇水時の緊急水の補給
 - ⑤資料1-4-2 平成6年度 琵琶湖実績水位
8. 第2回余野川ダムサブWG資料（平成16年9月22日実施）
 - ①資料1-1 余野川ダム代替案に係わる資料
 - ②資料1-2 余野川ダム計画に関する調査検討 追加説明資料
9. 第5回ダムWG資料（平成16年9月23日実施）
 - ①資料1-1 川上ダムの代替案について（調査検討の中間報告）
 - ②資料1-2 猪名川狭窄部上流の目標規模の再検討について
10. 第6回ダムWG資料（平成16年10月4日実施）
 - ①資料1-1 「既往最大規模の洪水」の考え方について
 - ②資料1-2 琵琶湖から宇治川までの流下能力1,500m³/s整備について
 - ③資料1-3 琵琶湖で生息生育する生物の生息生育環境を修復するための琵琶湖水位操作
 - ④資料1-4 「塔の島」地区の河川整備について
 - ⑤資料1-5 大戸川・黒津地点流量と天ヶ瀬ダム流入量について
11. 第7回ダムWG資料（平成16年10月18日実施）
 - ①資料1-1 木津川上流上野地区の治水対策案について
 - ②資料1-2 琵琶湖水位と瀬田川洗堰について



■資料3より抜粋

◎資料3-1 開催経過

種類	回	実績	開催日	時間	場所	議題	備考
淀川部会	第24回	済	2004.08.25	13:00～16:00	京都リサーチパーク	1) ダムWGについて (川上ダムに係る河川管理者からの報告、川上ダムサブWGにおける検討経過の報告、報告に基づく議論等) 2) 河川整備計画基礎案に係る平成16年度事業の進捗の点検について	2) については審議先送り
淀川部会	第25回	済	2004.09.17	10:00～13:00	ばるるプラザ	ダムWGについて ・大戸川ダムに係る河川管理者からの報告 ・3ダムサブWGにおける検討経過の報告、報告に基づく議論等	
淀川部会	第26回	済	2004.10.19	13:30～16:30	カラスマプラザ21	河川整備計画基礎案に係る平成16年度事業の進捗の点検について	
淀川部会	第27回		2004.11.30	16:00～19:00	ばるるプラザ	(調整中)	
猪名川部会	第21回	済	2004.09.01	16:00～19:00	天満研修センター	1) ダムWGについて (余野川ダムサブWGにおける検討経過の報告、報告に基づく議論等) 2) 河川整備計画基礎案に係る平成16年度事業の進捗の点検について	
猪名川部会	第22回	済	2004.10.21	15:00～18:00	天満研修センター	1) 進捗点検における検討 2) 余野川ダムサブWGに係わる検討	
猪名川部会	第23回		2004.11.02	16:00～19:00	天満研修センター	(調整中)	
猪名川部会	第24回		2004.12.03	調整中	場所未定		
猪名川部会	第25回		2005.01.18	13:00～16:00	場所未定		
琵琶湖部会	第28回	中止	2004.09.15	10:00～13:00	京都リサーチパーク		開催中止
琵琶湖部会	第28回	済	2004.10.13	10:00～13:00	コラボしが21	1) 基礎案に係わる具体的な整備内容シートに係る検討 2) ダムWGに係わる検討 3) その他(16年度事業の進捗点検)	
琵琶湖部会	第29回		2004.11.08	13:30～16:30	大津プリンスホテル	(調整中)	第3回3ダムサブWG(10:00～12:00)と合同開催
琵琶湖部会	第30回		2004.12.15	16:00～19:00	ピアザ淡海		
琵琶湖部会	第31回		2005.01.12	13:30～16:30	調整中		

資料3-2 提出資料一覧

河川管理者からの提出資料一覧

琵琶湖部会向け

- 第28回琵琶湖部会資料（平成16年10月13日実施）
 - 資料1 整備内容シートに係わる各委員からの意見
 - 資料2-1 3ダムサブWGにおける検討状況
 - 資料2-2 ダムWGにおける検討状況
 - 資料3 河川整備計画進捗状況
 - 資料4 委員会における今後のスケジュール
 - 参考資料1 委員および一般からのご意見

淀川部会向け

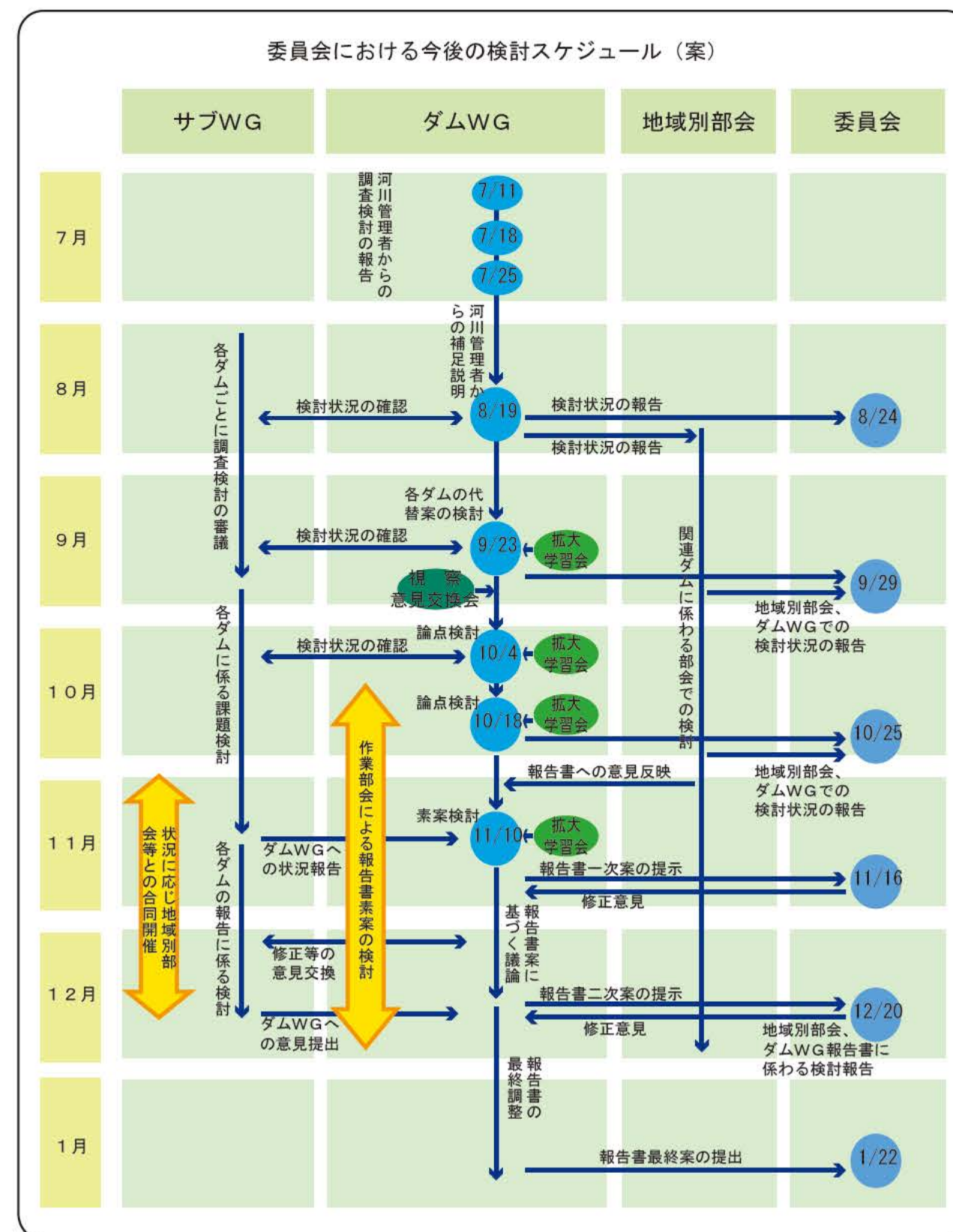
- 第24回淀川部会資料（平成16年8月25日実施）
 - 資料1-1 川上ダム計画に関する調査検討の説明状況
 - ※第1回ダムWG（H16.7.11）提出資料
 - 資料1-2 川上ダム計画に関する調査検討（中間報告）
 - ※第1回ダムWG（H16.7.11）提出資料
 - 資料1-3 川上ダムの効果について
 - ※第4回ダムWG（H16.8.19）提出資料
 - 資料1-4 川上ダムサブWG（第1回）現地視察説明資料
 - ※第1回川上ダムサブWG（H16.8.3）の資料の一部を抜粋したもの
 - 資料2-1 河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目
 - 資料2-2 河川整備計画進捗（調査・検討、実施）に係る委員からの意見
 - 資料3 委員会における今後のスケジュール
- 第25回淀川部会資料（平成16年9月17日実施）
 - 資料1-1 河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目
 - ※第24回淀川部会（8/25）提出資料
 - 資料1-2 河川整備計画進捗（調査・検討、実施）に係る委員からの意見
 - ※第24回淀川部会（8/25）提出資料
 - 資料2-1 治水経済調査マニュアル(案) — 建設省河川局
 - 資料2-2 治水経済調査マニュアル(案) — 近畿地方整備局
 - 資料3 委員会における今後のスケジュール
 - 参考資料1 委員および一般からのご意見
- 第26回淀川部会資料（平成16年10月19日実施）
 - 資料1-1 河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目
 - ※第25回淀川部会（9/17）提出資料
 - 資料1-2 淀川堤防強化検討委員会報告書
 - ※第25回淀川部会（9/17）提出資料
 - 資料1-3 河川整備計画進捗（調査・検討、実施）に係る委員からの意見
 - ※第25回淀川部会（9/17）提出資料
 - 資料2 委員会における今後のスケジュール
 - 参考資料1 委員および一般からのご意見

猪名川部会向け

- 第21回猪名川部会資料（平成16年9月1日実施）
 - 資料1 余野川ダムサブWG結果報告、議事内容
 - 資料2 河川整備計画進捗状況
 - 資料3 委員会における今後のスケジュール
 - 参考資料1 委員および一般からのご意見
- 第22回猪名川部会資料（平成16年10月21日実施）
 - 資料1 河川管理者からの提供資料(予定)
 - 資料2 余野川ダム検討と議論の状況中間報告（本多委員メモ）
 - 資料3 委員会における今後のスケジュール
 - 参考資料1 委員および一般からのご意見

■資料4より

第34回委員会では、資料4「委員会における今後の検討スケジュール（案）」について説明がなされました。以下に資料を掲載いたします。



配付資料リスト

資料リスト		資料請求 No
議事次第		R34-A
資料1	前回委員会（2004. 9. 29）以降の状況報告	R34-B
資料2	ダムWG関連資料	
資料2-1	開催経過	R34-C
資料2-2	ダムWGについての検討経過メモ（041025）	R34-D
資料2-3	ダムWG資料抜粋	R34-E
資料2-4	河川管理者からの提出資料一覧	R34-F
資料2-5	ダムWG結果概要	R34-G
資料2-6	サブWG結果概要	R34-H
資料3	地域部会関連資料	
資料3-1	開催経過	R34-I
資料3-2	河川管理者からの提出資料一覧	R34-J
資料3-3	各地域部会での検討経過（結果概要）	R34-K
資料4	委員会における今後の検討スケジュール	R34-L
資料5	今後のスケジュール	R34-M
参考資料1	委員および一般からのご意見	R34-N

注：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP. 14の「配付資料及び意見書の閲覧・入手方法」をご覧ください。

委員会 委員リスト

2004. 10. 24現在（五十音順、敬称略）

No.	氏名	対象分野	所属等
1	芦田 和男 （委員長）	河川環境一般	京都大学 名誉教授 財団法人 河川環境管理財団 研究顧問
2	有馬 忠雄	植物	大阪府 自然環境保全指導員
3	池淵 周一 （利水部会長）	水資源（水文学、水資源工学）	京都大学防災研究所 教授
4	井上 良夫	地域の特性に詳しい委員（水辺の遊び）	BSCウォータースポーツセンター 校長
5	今本 博健 （治水部会長）	洪水防御（河川工学、水理学）	京都大学 名誉教授
6	江頭 進治	河道変動	立命館大学理工学部 教授
7	大手 桂二	砂防	京都府立大学 名誉教授
8	荻野 芳彦	農業関係（農業水利）	大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 教授
9	嘉田 由紀子	地域・まちづくり （環境社会学、文化人類学、住民参加論）	京都精華大学 教授 滋賀県立琵琶湖博物館 研究顧問
10	川上 聡	地域の特性に詳しい委員 （水環境保全ネットワーキング・市民活動）	NPO法人 全国水環境交流会 理事 木津川源流研究所 所長
11	川那部 浩哉 （琵琶湖部会長）	生態系	京都大学 名誉教授 滋賀県立琵琶湖博物館 館長
12	川端 善一郎	生態系	京大大学生態学研究センター 教授
13	紀平 肇	動物	中間法人 水生生物保全研究会 理事
14	倉田 亨	農林漁業	近畿大学 名誉教授 京都府内水面漁場管理委員会 会長
15	小竹 武	地域の特性に詳しい委員	大阪市立十三中学校 校医 小竹医院 院長 淀川ネイチャークラブ 会長
16	小林 圭介	植物（植物社会学）	滋賀県立大学 名誉教授 永源寺町教育委員会 教育長
17	宗宮 功 （環境・利用部会長）	水質（水質工学）	京都大学名誉教授 龍谷大学教授
18	田中 真澄	地域の特性に詳しい委員 （自然哲学）	岩屋山志明院 住職 鴨川の自然をはぐくむ会 代表 市民投票の会 共同代表
19	田中 哲夫	漁業関係（魚類生態学）	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 助教授
20	谷田 一三	動物 （河川生態学、昆虫分類系統学）	大阪府立大学総合科学部 教授
21	田村 悦一	法律（行政法）	京都橘女子大学文化政策学部 教授 立命館大学 名誉教授
22	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員 （幅広い分野の人のネットとコーディネイト）	子供と川とまちのフォーラム 副代表
23	寺川 庄蔵	地域の特性に詳しい委員 （自然・環境問題全般）	びわ湖自然環境ネットワーク 代表

No.	氏名	対象分野	所属等
24	寺田 武彦 (淀川部会長)	法律	弁護士 日弁連公害対策・環境保全委員会 元委員長
25	寺西 俊一	経済(環境経済学、環境政策論)	一橋大学大学院経済学研究科 教授
26	中村 正久	水環境(環境政策、環境システム工学)	滋賀県琵琶湖研究所 所長
27	西野 麻知子	動物(陸水動物学)	滋賀県琵琶湖研究所 総括研究員
28	仁連 孝昭	経済	滋賀県立大学環境科学部 教授
29	畑 武志	農業関係	神戸大学農学部 教授
30	服部 保	植物(植物生態学)	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授
31	原田 泰志	漁業関係	三重大学生物資源学部 教授
32	尾藤 正二郎	マスコミ	神戸親和女子大学文学部 教授
33	畚野 剛	地域の特性に詳しい委員	川西自然教室 代表
34	藤井 絢子	地域の特性に詳しい委員	滋賀県環境生活協同組合 理事長
35	細川 ゆう子	地域の特性に詳しい委員 (住民運動)	猪名川の自然と文化を守る会
36	本多 孝	地域の特性に詳しい委員 (環境教育、人と自然のかかわり)	みのお山自然の会 会長
37	榎村 久子	地域・まちづくり (地域計画・景観文化論)	京都女子大学現代社会学部 教授 (社)なら女性フォーラム 副理事長
38	榎屋 正	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長
39	松岡 正富	地域の特性に詳しい委員	滋賀県漁業青年部 理事 朝日漁業協同組合 監事
40	松本 馨	地域の特性に詳しい委員 (地域自然保護活動、淡水生物調査、環境 (自然保護)教育)	池田・人と自然の会 代表
41	水山 高久	治山・砂防	京都大学大学院農学研究科 教授
42	三田村 緒佐武 (住民参加部会長)	環境教育 (水環境教育、生物地球化学)	滋賀県立大学環境科学部 教授
43	村上 悟	地域の特性に詳しい委員 (鳥類生態、ラムサール条約)	琵琶湖ラムサール研究会 代表
44	森下 郁子	動物	大阪産業大学 人間環境学部 教授
45	矢野 洋	水質	神戸市水道局水技術部 調査役
46	山村 恒年	法律(行政法・環境法)	弁護士・元神戸大学教授
47	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民
48	吉田 正人	自然保護(自然保護、生態学)	財団法人 日本自然保護協会 理事 江戸川大学 助教授
49	米山 俊直 (猪名川部会長)	水文化	京都大学 名誉教授 国際京都学協会 理事長
50	鷺谷 いづみ	植物(植物生態学、保全生態学)	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
51	和田 英太郎	水質(同位体生態学)	地球環境フロンティア研究センター プログラムディレクター
52	渡辺 賢二	水環境	上桂川漁業協同組合 元事務局長

注：対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

配付資料及び意見書の閲覧・入手方法

以下の方法で資料及び意見書を閲覧、または入手することができます。ただし、以下の点にご注意下さい。
 ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。
 ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

ホームページによる閲覧

配付資料及び意見書は、ホームページで公開しております。

郵送

郵送による配付資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。(希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。)ご希望の方は、FAXまたは郵送、E-mailで庶務までお申し込みください。

閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

「意見書」の入手

意見書の送付を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号と「意見書希望」を明記のうえ、下記までご連絡ください。

※頂いた個人情報については、上記資料及び意見書の送付のみに使用させていただきます。



ご意見受付

淀川水系流域委員会ではみなさまのご意見を募集しています。
ホームページ、E-mailまたはFAXにてお寄せ下さい。

※氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号をご記入のうえ、下記までお寄せ下さい。
 ※寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。
 ※ご意見を公表する場合には、団体・会社名(または居住地)とお名前も公表いたしますので予めご了承下さい。
 ※ご記入いただいた個人情報については、上記の意見の公表のみに使用させていただきます。

■ホームページ <http://www.yodoriver.org>

■E-mail yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

■TEL 06-6222-5870

■FAX 06-6222-5871

淀川水系流域委員会 庶務
みずほ情報総研(株)

淀川水系流域委員会 委員会ニュース No.34

2004年11月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

みずほ情報総研 株式会社

.....
研究員：吉岡、篠田、鈴木、熊谷、松本
事務担当：山根

〒542-0042 大阪市中央区今橋4-2-1（大阪富士ビル8階）

TEL: (06) 6222-5870 FAX: (06) 6222-5871

E - mail : yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

●流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

◆ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局／淀川河川事務所／琵琶湖河川事務所／大戸川ダム工事事務所／淀川ダム統合管理事務所／猪名川河川事務所／猪名川総合開発工事事務所／木津川上流河川事務所／水資源機構 関西支社／滋賀県 土木交通部河港課／京都府 土木建築部河川課／大阪府 土木部河川室／兵庫県 土木部河川課／奈良県 土木部河川課／三重県 伊賀県民局 等

*ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。